

平成 29 年度
「国際性に富む人材育成留学事業」派遣生募集要項
高校生交換留学プログラム

1. 目的：本プログラムは、沖縄 21 世紀ビジョンに掲げる「国際性と個性を涵養しグローバルに活躍できる人材」を育成するため、高校生を諸外国に派遣することにより、異文化体験を通して国際感覚を身につけさせることを目的とします。
2. 派遣国（予定）：アメリカ、アルゼンチン、イタリア、インド、インドネシア、エクアドル、オーストラリア、オランダ、カナダ（英語圏）、コスタリカ、スイス（ドイツ語圏）、スウェーデン、タイ、台湾、チリ、中国、デンマーク、ドイツ、ニュージーランド、ノルウェー、フィリピン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、メキシコ（26 か国）
3. 募集人員：80 名程度
内 40 名前後をアメリカ派遣とし、その他の国への派遣は若干名とします。
4. 留学期間：1 学年間（約 10 ヶ月）平成 29 年 5 月～9 月に派遣開始予定
* 派遣国によって出発日が異なります。
5. 経費助成額：派遣する高校生に対しプログラム参加費の全額を助成します。

※下記（表 1）の派遣国においては、現地事前研修が必修となります。費用は、急激な為替レートの変動があった場合には変更になることがあります。

※事前研修費用については原則として自己負担ですが、次年度の予算化が実現した場合は助成の対象となります。

（表 1）

派遣国	期間	費用
アルゼンチン	計 40 時間	69,000 円
スイス	約 3 週間	162,000 円
チリ	計 100 時間	55,200 円
ドイツ	約 2 週間	152,400 円
フランス	約 3 週間	148,590 円
メキシコ	約 4 週間	167,325 円
エクアドル	約 4 週間	131,560 円

〔留学経費としてプログラム参加費に含まれないもの（自己負担）〕

- ① 旅券・ビザ申請諸費用
ビザ申請にあたり、本人および保護者が県外の領事館または大使館まで出頭のある場合があります。
- ② 英文健康診断書作成、予防接種費用
派遣先国より各種予防接種の接種が求められる場合があります。日本では輸入ワクチンしかない予防接種もあり、1本あたりの接種が1～2万円前後する場合があります。
- ③ オリエンテーション参加交通費
- ④ 自宅から成田または羽田空港までの往復の交通費
- ⑤ 授業料は免除されますが、実験・実習費、教科書代、通学交通費等、一定額の学校経費の負担を求められる場合があります。
- ⑥ 海外旅行保険料（15万円～25万円程度）
- ⑦ 個人的経費（お小遣い等）
- ⑧ 現地事前研修費（受講必須の国のみ）

※以上、①～⑦の目安として最低でも約50万円程度の費用負担があります。

6. 応募資格：沖縄県に在住し、日本国籍を有し、沖縄県内の県立、私立高等学校及び国立工業高等専門学校に在籍し、次の全ての要件を満たす者の中から在籍学校長が推薦する者

※派遣希望国に応じてA方式またはB方式で応募が可能です。方式の併願はできません。

※国籍を有する国に派遣することはできません。本人に認識がなくとも、派遣国の国籍を有することが内定後に判明した場合、内定は取り消します。

【アメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド派遣希望者】

(A方式)

- (1) 1999年（平成11年）4月2日～2001年（平成13年）4月1日に生まれた者で受験時に高校1年生または高校2年生
※オーストラリア、ニュージーランドへの派遣は、1999年（平成11年）12月1日～2001年（平成13年）4月1日に生まれた者
- (2) 学業成績は、中学1年から現在までの全教科についての学年末成績および最新学期成績において、5段階評価の場合「1」または「2」、10段階評価の場合「1」～「4」が含まれていないこと。
- (3) 英語検定準2級以上又は原則として渡航前までに取得できる者

- (4) 心身ともに異文化体験の適応力があり健康な者
* 医師の診断書で疾病により留学適応不可の場合は取り消しとなる場合があります。
- (5) 中学1年から現在までの欠席日数（登校しても全授業に出席しない日数を含む）が原則として年間10日以内であること。

【アメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド以外の派遣国への派遣希望者】（B方式）

- (1) 1999年（平成11年）4月2日～2001年（平成13年）4月1日に生まれた者で受験時に高校1年生または高校2年生
- (2) 学業成績は、中学1年から現在までの全教科についての学年末成績および最新学期成績で、5段階評価で平均3.5以上あること。かつ、直近学年末成績の主要教科（国・数・英・理・社）における5段階評価の場合「1」または「2」、10段階評価の場合「1」～「4」がないこと。
- (3) 英語検定準2級以上又は原則として渡航前までに取得できる者
- (4) 心身ともに異文化体験の適応力があり健康な者
* 医師の診断書で疾病により留学適応不可の場合は取り消しとなる場合があります。
- (5) 中学1年から現在までの欠席日数（登校しても全授業に出席しない日数を含む）が原則として年間10日以内であること。

7. 応募手続：希望者は学校長を通して次の書類等を提出するものとします。各様式は協会のホームページからダウンロードが可能です。

【郵送提出】

- (1) 「国際性に富む人材育成留学事業」願書（高校生）（様式Ⅰ）
- (2) 課題作文（400字以内）（様式Ⅱ）指定の原稿用紙1枚分
* 様式Ⅱに入力し印刷。
- (3) 「学校の先生からの評価表」（様式Ⅲ、Ⅳ）
* 出願する方式に応じて様式を選択してください。
- (4) 成績表コピーまたは成績証明書（A4サイズ）
 - ・ 現高校1年生：中学3年間、高1最新学期分
 - ・ 現高校2年生：中学3年間、高1の成績、高2最新学期分
 * 様式は学校で定めているものを使用して下さい。中学校の成績は調査書の写しを提出して下さい。
* 在籍校が2学期制の場合は、現学年の応募時点での成績（素点）を5

段階評価へ修正して提出してください。

【WEB 提出】

- (1) 課題作文（400 字以内）（様式Ⅱ）指定の原稿用紙 1 枚分
* ファイル名は「生徒名@作文」としてください。
- (2) 志望理由ビデオ
* 1 分以内および日本語で①学校名および氏名、②志望理由、③自己 PR を含む内容で作成してください。
* ファイル形式は AVI (.avi)、Quick Time (.mov)、MPEG-4(.mp4) または WMV (.wmv) で作成してください。
* ファイル名は「生徒名」としてください。
- (3) 派遣希望国 希望順位シート（様式Ⅴ、Ⅵ）
* 自分が出願する方式に応じて様式を選択してください。
* 記載のあるすべての国に対して希望順を記入して下さい。
* 各派遣国における特徴や留意点については、協会のホームページ (<http://www.eiljapan.org>) に情報を掲載していますので参照してください。
* ファイル名は「生徒名@希望国」としてください。
- (4) 応募票（様式Ⅶ）

8. 受付期間：平成 28 年 9 月 20 日（火）～9 月 23 日（金）17:00 まで
（郵送の提出書類も、9 月 23 日必着）
* 申し込みは学校を通して行いますので、学校で提出期限を設けた場合はそれに従って下さい。個人での提出は認めません。

9. 提出先（問い合わせ先）：

【郵送提出分】

公益社団法人 日本国際生活体験協会（EIL） 沖縄事務所
〒902-0067 沖縄県那覇市安里 1-1-53
TEL：098-951-3652
e-mail：ayp2017@eiljapan.org

【WEB 提出分】 手順

Office365 アカウントがある場合

1. 9 月 20 日（火）までに、ayp2017@eiljapan.org 宛に、Office 365 アカウントのあるメールアドレスよりお問合せください。
2. WEB 提出先 One Drive フォルダ（アップロード用 URL）を連絡のあつ

たメールアドレス宛に共有します。

3. 9月23日(金) 17:00までに各データをアップロードの上、提出完了の旨、ayp2017@eiljapan.orgまでご連絡ください。提出を確認し次第、その旨返信します。

Office365 アカウントがない場合

1. 9月23日(金) 17:00までに、ストレージサービス(宅ふぁいる便、firestorage、DropBox等)を利用し、ayp2017@eiljapan.org宛に提出してください。提出を確認し次第、その旨返信します。

10. 選考試験日程等：

	第一次試験 (筆記)	第二次試験 (面接)
試験日(時間)	10月1日(土) (10:30~)	11月3日(祝・木) 宮古・八重山は(*)参照
試験会場 (予定*)	沖縄本島：県立那覇国際高等学校 宮古地区：県立宮古工業高等学校 八重山地区：県立八重山高等学校	沖縄本島：県立小禄高等学校 宮古地区：未定 八重山地区：未定
試験科目	・英語(70分間) ・一般常識(15分間)	・保護者及び受験生の面接 (30分程度)
合格発表	10月下旬	11月下旬

*応募者数が、300名を超えた場合は、書類選考により一次試験を受験する300名を決定します。

*第一次試験の詳細については、願書受付後、各学校長宛てに通知します。

*宮古・八重山地区については、一次試験合格者数によって第二次試験は本島で受験となります。その場合の本島への航空運賃代は負担します。

11. 結果の通知：選考の合否については、学校長を通して本人へ連絡します。

(1) 第一次試験(書類・筆記)の結果

通知日時：平成28年10月下旬

通知内容：合否結果、第二次試験(面接)会場等の詳細。

別途課題がある場合はその内容。

(2) 第二次試験(面接)の結果(内定)

通知日時：平成28年12月上旬

通知内容：合否結果

*なお、平成 29 年度国の予算成立、派遣先国受入団体における正式受入通知を以て派遣決定となりますので、内定者が最終の派遣者とならない場合があります。予めご了承下さい。

- (3) 選考の結果、不合格になった場合、その理由などについての照会には一切応じられません。

12. 実施団体について

委託先：公益社団法人 日本国際生活体験協会（EIL）
（募集・選考に関わる業務）

13. その他

(1) 事前説明会について

事業の概要説明および、プログラム参加者による体験談をお伝えします。応募希望者は参加をお勧めしますが、必須参加ではありません。

【事前説明会実施予定】

会場：沖縄県立総合教育センター 多目的研修棟
〒904-2174 沖縄県沖縄市与儀 3 丁目 11-1
日時：平成 28 年 9 月 10 日（土）午後 2 時～4 時

(2) 出発前オリエンテーションについて

派遣生およびその保護者は出発前オリエンテーションへの参加を**必須**とします。

【出発前オリエンテーション実施予定】

派遣生：平成 29 年 2 月 3 日から 2 月 5 日（宿泊型）
保護者：平成 29 年 3 月 5 日

(3) ホストファミリーについて

滞在するホストファミリーの人種、宗教、家族構成は様々であり、選択することはできません。

(4) 非英語圏派遣生の出発前の言語学習について

派遣先希望国の言語について事前に学習歴がなくとも応募は可能です。ただし、出発後、現地の生徒と同様に授業を受けること、また、ホストファミリーが英語を話せない可能性があるため、非英語圏への派遣内定後には、派遣先国言語の学習を各自で開始する必要があります。方法等は問いませんが、多くの派遣国において、内定後に作成する書類において、派遣国言語による文章の作成や、推薦書を得る必要がある場合があります。なお、出発前の言語学習にか

かる費用は自己負担となります。

(5) 海外からの留学生受入について

本プログラムは、海外への生徒派遣と同時に、海外からの留学生受入も行っています。そのため、内定者の家庭には積極的な留学生受入をお願いすることになりますことを予めご了承ください。

(6) 「グローバル・リーダー育成短期研修事業」との併願も可能です。